

旧家電量販店を活用しない子育て拠点の再構築をめざします

■市長からのメッセージ

子育て拠点再構築については、ワークショップや保護者説明会などの市民参画により把握した子育てニーズや地域の力を踏まえつつ、10年後、20年後の阪南市の活力やにぎわいを見据え、旧家電量販店を新しい子育ての中心拠点として整備するなど、現時点で取りうる最善の策として「阪南市地域子育て拠点再構築方針 中間とりまとめ（案）」を策定し、本誌6月号に掲載したところです。

そうした中、市議会の総意として「旧家電量販店を子育てに関する施策で活用すべきでない」と判断されたことを受け、市としては、中間とりまとめ（案）の事業化を断念せざるをえない状況となりました。


しかしながら、今日の厳しい子育て環境を踏まえると、一刻も早い子育て機能の充実が求められており、今後は、旧家電量販店を活用しない子育て拠点の再構築をめざし、私自身が先頭に立ち、議会とともに鋭意取り組んでまいります。

また、現在の公立幼稚園・保育所などについては、短期的な対処策を講じるとともに、中長期的には、これまで蓄積した市民の皆さんのご意見や現況分析などを踏まえ対応してまいります。

なお、旧家電量販店をどのようにするかについては、関係者と協議、調整を行い、市の負担が可能な限り少ない方策を検討してまいります。

◎みらい戦略室（内線 2538）

（これまでの主な経過）

平成 28 年 12 月 2 日	こども未来プロジェクトチーム（PT）発足 ⇒以降全 19 回の会議を重ねて検討	
平成 29 年 1 月～3 月	保護者説明会：全 8 回（126 人参加） 子育てニーズに関するアンケート：回答者 531 人 ワークショップ：旧家電量販店建物見学会（20 人参加） 地域ワークショップ（東鳥取、下荘、西鳥取、尾崎計 4 回で 88 人参加） 合同ワークショップ（44 人参加）	
4 月 27 日	子育て拠点整備特別委員会 ⇒市長から議会へ中間とりまとめ（案）を報告	
5 月 7 日・8 日	タウンミーティング（69 人参加）	
5 月 12 日	子育て拠点整備特別委員会	
5 月 19 日	議員 16 人全員が「旧家電量販店は子育てに関する施策で活用すべきでない」との意見でまとめ、市長に申し入れ	
5 月 29 日	子育て拠点整備特別委員会 ⇒市長より議会の意見を受けて旧家電量販店を活用しないことを表明	